

# 現地農業情報（徳之島）令和4年9月

## 1 徳之島で青年農業士総合講座を開催

9月13～14日に標記会が徳之島事務所で開催され、青年農業者4人が参加した。

農業をめぐる情勢やプロジェクト活動、農業経営等に関する講義のほか、先輩農業者の講話として指導農業士・女性農業経営士である永吉輝彦夫妻から、これまでの経験を踏まえた助言があった。



青年農業者からは、同世代と意見交換もできて貴重な経験となったとの声が聞かれた。

農業普及課は、今後も指導農業士会等と連携し、プロジェクト活動支援を中心に青年農業者を支援していく。

## 2 徳之島実えんどう部会が栽培講習会を開催

9月20日に標記会が農業開発総合センター徳之島支場で開催され、部会員9人が参加した。

農業普及課から「まめこぞう」の品種特性や栽培の流れについて説明を行い、徳之島支場園芸土壌研究室から具体的な手順について解説があった。

近年、競合するばれいしょの高単価により実えんどうの産地規模は縮小しているが、基本技術の徹底と単収の底上げを行い、導入品目としてのメリットを周知していく必要がある。

## 3 徳之島町有機農業推進協議会が生産者説明会を開催

9月6日に標記会がJAあまみ徳之島事業本部で開催され、町内のばれいしょ生産者6人が参加した。

当協議会では、ばれいしょの有機栽培に関する生産販売の支援を行う計画であり、生産者からは具体的な有機栽培の流れや販売条件等に関する質問があった。

10月以降の定植分について、一部ほ場で有機栽培への転換を進めていくこととなっており、農業普及課は有機栽培技術の確立に向けて支援する。

#### 4 全共に徳之島産牛が出品！最終予選会にも初出場！

8月28～29日に行われた、第12回全国和牛能力共進会（以下、全共）本県最終予選会（種牛の部第2区）に、徳之島町の永吉ファーム出品の「わいど」号が出場した。

全共本選への出品は叶わなかったが、大島地区として、初めて取り組んだ全共種牛の部で最終予選まで勝ち抜いたことは、5年後の次回大会につながる大きな成果であった。

なお、同第6区肉牛群では、徳之島町の武元光代氏生産の「亀吉」の全共出場が決まり、関係者一同、優秀な枝肉成績を期待している。

